

出てきてヒーロー・ヒロイン

本校では『出し切る自分づくり』の指導を進めています。学級だけでなく、全校の場でも自分を『出し切る』ことができ、本当の意味で自己表現ができたと考えています。そこで意図的に全校で自己表現できる場を設定しました。それが「出てきてヒーロー・ヒロイン」です。

昨年度から月に1～2回行われる児童集会の中で行っています。自分の特技や自慢を披露するコーナーで、その内容は「空手の形」「バレーのトス」「ピアノ演奏」「フラダンス」「和太鼓」「けん玉」「一輪車」等多彩です。中には「口笛」や「寄り目」を披露した児童もいました。

披露した後には、それに対する感想を発表して全校で交流する場も設定しています。

この活動を通して、披露した側も感想を話す側も、全校の前で自分を表現することの楽しさや喜びを実感するとともに、その子の良さをみんなで認め合うことで、温かい人間関係を形成していくことができました。

岐阜新聞社さんにも取材をしていただく機会がありましたが、掲載された記事には次のように記されていました。

「子どもたちの姿は実に生き生きしていた。互いに信頼しているからこそ出せる声にはカラフルな色が付いていて、心と心をつなぐ虹のように感じた。

『出てきてヒーロー・ヒロイン』で自慢を披露する仲間を送る『がんばれ～』には、精いっぱい応援しようとする思いが強く宿り、エネルギーの塊となって発表者を支えていた。相手を思う気持ちは、手に取って見せられるものでないが、感じることはできる。相手のことを思い言動する子どもたちの姿はとても美しかった」

(平成29年10月31日 岐阜新聞)

本校の児童を育む大切な活動です。

